

# 頻発化・激甚化する豪雨災害や 南海トラフ地震に 日頃から**最大限の備えを!**

## ガイドブックのねらい

毎年のように全国各地で「豪雨災害」が発生しています。また、美馬市においても甚大な被害が想定されている「南海トラフ地震」は今後30年以内に70~80%の確率で発生するとされています。

大雨や地震などがもたらす災害リスクを知り、日頃の備えや災害が発生した際の適切な行動へとつなげていただくため、総合防災ガイドブックを作成しました。

このガイドブックには、防災に関する最新の情報を掲載していますので、ハザードマップと併せてご活用いただき、お住まいの地域やご自身に合った防災を進めてください。

## ガイドブックの使い方

このガイドブックは、自宅周辺にどのような災害リスクがあるかを確認しやすいよう、災害の種別ごとにページを構成しています。ご自身の災害リスクを知り、日頃の備えを確認し、実践していきましょう。

**ステップ1**  
災害のリスク  
を知る

### 自宅周辺の災害リスクを確認しましょう!

① 美馬市の災害リスクを知る	P3
② ハザードマップで自宅周辺の災害リスクを知る	巻末
・浸水想定区域ですか? 《Yes・No》→ Yesの方は	P5
・土砂災害(特別)警戒区域ですか? 《Yes・No》→ Yesの方は	P7
・ため池浸水想定区域ですか? 《Yes・No》→ Yesの方は	P8
③ 地震について知る	P9

**ステップ2**  
日頃の備え  
を実践

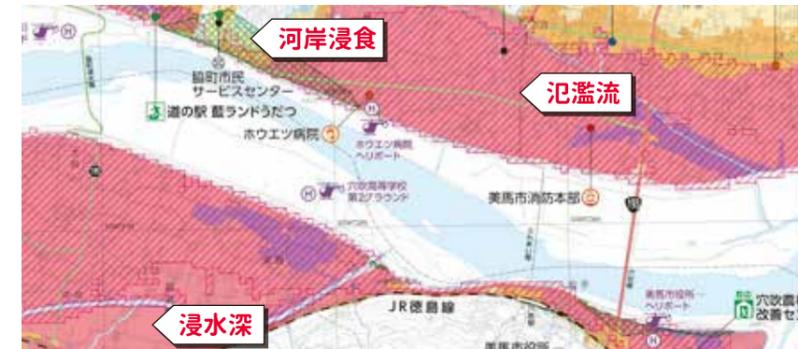
### 日頃の備えを確認しましょう!

④ 日頃の備えを確認する	P11
⑤ 避難方法を確認する	P13
⑥ マイ・タイムライン(洪水、土砂災害)を作成する	P15
⑦ 支援制度を確認する	P17

## ハザードマップの見方・使い方

### 洪水ハザードマップ

洪水ハザードマップは、吉野川岩津上流域で48時間の総雨量765mmの大雨が降った場合に発生する氾濫を想定して作成しています。これはおよそ1000年に一度起こる規模の雨量です。



### 早期立ち退き避難が必要な区域

氾濫流・河岸浸食が表示されている区域(家屋倒壊等氾濫想定区域)は、洪水によって激しい流れが発生し、家屋が流出・倒壊するおそれがある範囲を表示しています。

- 氾濫流  
木造家屋が水深と流速から倒壊等をもたらすような氾濫流が発生するおそれのある区域
- 河岸浸食  
家屋の構造に関係なく基礎を支える地盤が流出するような河岸浸食が発生するおそれのある区域

### 浸水害・土砂災害ハザードマップ

土砂災害(特別)警戒区域に指定されている場所と、平成16年台風23号で実際に浸水した区域を掲載しています。

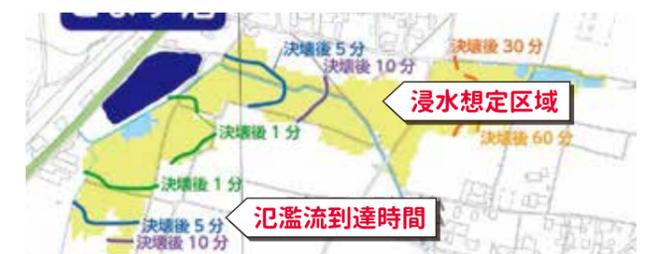
このハザードマップは、縮尺が小さくなりすぎて見づらくなならないよう、お住まいの地区(美馬町地区・脇町地区・穴吹町地区・木屋平地区)ごとに、それぞれ北部・南部に分けて作成し、巻末ポケットに収納しています。



### ため池ハザードマップ

ため池ハザードマップは、市内にある防災重点農業用ため池(決壊による水害等により周辺の区域に被害を及ぼすおそれがあるため池)等全部で24か所のため池について作成しています。

複数のため池浸水想定区域が重なり合っで見づらくなならないように、マップを分けて作成しています。



### Web版ハザードマップは、次の操作ができます。

- 地図の拡大・縮小による見やすい大きさでの表示
- 航空写真での表示
- 様々な災害リスクを任意に選択して表示
- スマートフォンでの閲覧
- 避難所の場所や適用災害の確認
- 外国語(英語)による表示



Web版ハザードマップ